

公益社団法人青少年健康センター  
会長 齋藤友紀雄

この度、平成 30 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 演劇活動・体験活動を用いた社会参加準備支援

【目的】演劇活動では発声練習や役を演じることにより、自分自身の対人コミュニケーションの特徴に気づく機会を増やし、体験活動を通して、様々な場面・関係性・活動から、自信・意欲を高め、将来行われるであろう、自立に向けてのレジリエンス（精神的回復力）を高める、就労・職場内での対人関係などを乗り越えられる地盤を築けられることを目的とする。

(2) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた家族支援及び交流会

【目的】ひきこもり当事者のご家族様向けにオープンダイアログの支援技法を用いた家族支援・交流会を用いることにより、家族内での対話やコミュニケーションについて再考し、実際の家庭の中で活用できるようになることを目的としています。

精神科医の齋藤環氏を中心に、原則毎月 1 回開催し、講義形式で行われる「理論編」と対話を中心とした「ワーク」を実施いたしました。

(3) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

③ 補助金額： 1,278,000 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 31 年 3 月 31 日

以上

公益社団法人青少年健康センター  
会長 齋藤友紀雄

この度、平成 28 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

⑥ 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

⑦ 事業内容：

(4) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(5) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(6) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

⑧ 補助金額： 2,241,000 円

⑨ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑩ 事業完了日：平成 29 年 3 月 31 日

以上

この度、平成 27 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(2) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(3) 思春期カウンセリング講座

【目的】引きこもりの若者の家族へ心理教育を行い、カウンセリングマインドを養い、引きこもり本人への対応を改善し、健全なコミュニケーションの確立・家族機能の回復を図ります。

(4) 講演会・シンポジウム・引きこもり対策講座開催事業

【目的】引きこもりの若者を抱える家族が本事業を通して、家族が社会につながるきっかけを提供し、家族自身が若者への理解、対応方法の改善、社会資源の知識を習得することで、引きこもりの若者の社会参加への下地をつくります。

(5) 青少年自殺予防事業

【目的】日本の若者の自殺率は先進国内で見ても高い水準を維持しております。この背景にはうつ病等の精神疾患との関係性も多くあげられていますが、治療を受けていない方も多数おります。このような背景から青少年自殺予防事業として、平日は電話相談員が隔週土曜日に精神科医が電話相談業務に従事しております。

③ 補助金額： 3,503,940 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター  
住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 28 年 3 月 31 日

以上

この度、平成 26 年度の公益財団法人 JKA における競輪の補助を受けて、下記の事業を完了いたしましたので、ご報告申し上げます。

① 事業名：引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業

② 事業内容：

(1) 引きこもりを対象とした自立支援事業

【目的】引きこもりの若者への各種支援活動を通し、ハローワークをはじめとする就労支援機関・作業所等の福祉施設などの他の社会資源の利用を検討しはじめ・利用できるようになることを目的としています。

(2) 社会参加支援プログラム開催事業

【目的】若者一人ひとりのその人らしい社会参加の形を目指し、当法人の居場所以外のサークル活動、グループワークや職場体験・中間就労などの場を提供します。これより自身の社会参加のイメージを具体化させ、自身をつけ、社会参加への準備性を高めていくことを目指します。

(3) 思春期カウンセリング講座

【目的】引きこもりの若者の家族へ心理教育を行い、カウンセリングマインドを養い、引きこもり本人への対応を改善し、健全なコミュニケーションの確立・家族機能の回復を図ります。

(4) 講演会・シンポジウム

【目的】引きこもりの若者を抱える家族が本事業を通して、最新の知識を知る機会を提供し、新たな支援に触れる機会を提供する。

③ 補助金額： 1,973,305 円

④ 実施会場：公益社団法人青少年健康センター

住所：東京都文京区小日向 4-5-8 三軒町ビル

⑤ 事業完了日：平成 27 年 3 月 31 日

以上